

鶏肉や季節の野菜を使ったメニューに挑戦 花蓮会 親子で料理教室を開催

若手農業者クラブ花蓮会が親子料理教室を行いました。講師に食生活改善推進員の宮下和代さん、中濱佳代子さん、加藤絹子さんを招き、「手羽先チューリップと夏野菜の鉄板焼き」や「塩麹鶏そぼろおにぎり」など計5種に親子で挑戦。参加した大根占小4年の福岡咲那さんは「鹿児島県が鶏の生産量第1位ということに驚いた。みんなと作って食べるとおいしかった。」と語りました。



親子で参加できるよう、今回は夏休みに実施。約20名が参加し、栄養たっぷりのメニューに舌鼓をうちました。

巨峰やシャインマスカットなど10種類以上のぶどうを栽培。9月中旬まで開園予定。



花瀬観光農園 開園式 田代幼稚園児9名がハサミ入れ

8月5日、ぶどうの収穫時期を迎えた花瀬観光農園で開園式が行われました。式典には関係者など約20名が参加。田代幼稚園の年長児によるハサミ入れも行われました。花瀬観光農園組合の濱田隆介組合長は「今年は天候が良く、糖度が高いぶどうができた。」と述べました。ハサミ入れを行った福永粋くんは「ぶどうは好き。ばあばと食べたい。」と笑顔を見せました。

参加した中学生は真剣に作業していました。今後は、断熱化した町長室と未改修の部屋のデータを採取し、検証していく予定です。



町長室の壁や窓の改修作業を体験 断熱ワークショップ

環境教育の一環として、中学生を対象とした断熱ワークショップが行われました。今回は町長室を改修。参加した中学生7名は、森林の役割や家屋の断熱の仕組みなど学び、町長室の壁や窓を断熱する作業を体験しました。参加した錦江中2年の久保貴也さんは「チラシを見て、興味があり参加した。断熱材を入れることによって体感温度が違うような気がする。」と述べました。

ステージ前に集まり、音楽に合わせて踊る観客たち。ちびっこたちもノリノリでダンス。夏休みの素敵な思い出になったことでしょう。



8月11日、神川海岸で錦江レゲエ浜まつりが開催され、多くの来場者でにぎわいました。今年、レゲエの発祥地ジャマイカと日本の国交樹立60周年を記念して、ジャマイカ大使館よりショーナ・ケイ・M・リチャーズ大使(右写真中央)が来場されました。ステージでは、CHOPPERさんやBON DXさん、BESさんなど多数のアーティストが出演し、歌やダンスを披露。会場一体となって盛り上がりました。

今年もアツイナツがやって来た 錦江レゲエ浜まつり開催



令和6年度錦江町／南大隅町自主文化事業 「桜舞～花征きて」

8月7日、錦江町文化センターにて舞台「桜舞～花征きて」が上演され、多くの町民が来場しました。この舞台は、人間爆弾「桜花」部隊として鹿屋基地に赴任した青年を主人公とし、観客に平和への想いや命の大切さなどを訴える作品でした。鑑賞した本坊禮子さんは「戦争をわかっている世代の私たちにとって、じんとくるものがあった。」と感想を述べました。



鑑賞された大村幸子さんは「当時の犠牲のもとに今の自分たちがある。戦争の残酷さを改めて感じた。」と話されました。

地域活性化センター神川入居企業ソフィック 関西の仕事も錦江町で！雇用始まる

地域活性化センター神川に入居する株式会社ソフィックが、錦江町で7名を雇用し、兵庫県にある協力会社の仕事をリモートで行う取り組みがスタートしました。仕事内容は、企業や団体などのデータ入力やホームページの維持管理等。週に2～3日、各3時間程度働く平石綾美さんは「時間に融通が利くので働きやすい。」と語りました。



株式会社ソフィックの代表塔筋幸造さんは「ものの見方をかえると気付くことがある。そういった視点をもって働いてほしい。」と呼びかけました。

小学生はScratchというアプリを使って、オリジナルのゲームを作成。友達同士でアドバイスし合う姿も見られました。



錦江町 ICT ワークショップ 2024 プログラミングでゲーム開発

テクノロジー教育事業を展開する株式会社グルーヴノーツから講師を招き、プログラミングを楽しく学ぶ3日間のワークショップを行いました。町内の小中学生17名が参加し、学校で使用しているタブレットを使って、ゲーム開発の基本を学びました。参加した大根占小4年の中浜小雪さんは「最初は難しかったけれど、慣れてきたら楽しくできました。」と話しました。

Kinko Town Pickup Photonews

大根占・田代畜産共進会に 68 頭出品 生産技術を競い産地化目指す

8月23日に田代畜産共進会、27日に大根占畜産共進会が行われ肝属地区共進会への出品牛14頭が決まりました。畜産技術員による厳正な審査の結果、最高賞のグランドチャンピオンに徳永光秀さんの「もねこ」、西元裕樹さんの「つとむの6121」がそれぞれ選ばれました。肝属地区共進会は9月10日に開催されます。



大根占地区秋季畜産共進会

写真左から▶グランドチャンピオン賞（もねこ / 徳永光秀）
 町長賞（こあ1の1 / 原口勉）
 農協長賞（ふくひで / 宿利原伸吾）



田代地区秋季畜産共進会

写真左から▶農協長賞（ひでみ / (有)花瀬農園）
 町長賞（りつか / 瀬戸口哲郎）
 グランドチャンピオン賞（つとむの6121 / 西元裕樹）

大根占グランドチャンピオン
 徳永光秀さん「もねこ」



田代グランドチャンピオン
 西元裕樹さん「つとむの6121」



「昭和歌謡、演歌が大好き」と語るアインさん。十八番は石原裕次郎の「北の旅人」。ギターでの弾き語りが得意です。



国際交流員着任 ベトナムと日本の架け橋に チャン・ホアン・アインさん

8月5日、国際交流員としてチャン・ホアン・アインさんが着任されました。アインさんはベトナムのラオ・カイ省出身の25歳。錦江町内の技能実習生等のサポートや、国際交流事業などを担当します。辞令を受け取ったアインさんは「今後、日本とベトナムの交流の発展に貢献し、自分の能力も高められるように頑張っていきたい。」と意気込みを語りました。

国際交流員アインさんの紹介

- 生年月日…1999年2月13日生まれ
- 趣味…歌、ギター、料理、筋トレ
- 好きな日本食…寿司・刺身・うどん
- おすすめのベトナム料理…フォー、ネム（揚げ春巻き）ネムは旧正月に家庭で作るメニュー！
- 錦江町の印象…暑い！人が優しい！
- 町民の皆さんへ…この度、国際交流員として仕事させていただくことになりました。ハノイ法科大学と在ベトナム名古屋大学日本法教育研究センターで日本語と日本の法律を勉強し、卒業後はベトナムのJICA法整備プロジェクトに勤務しました。錦江町では、様々なお祭りに参加したり、地元の方と交流したいです。よろしくお願いたします。



●肝属地区畜産共進会への出品牛 (錦江町から14頭出品)

- 大根占地区▶もねこ / 徳永光秀
 いわいなな / 福永四男
 こあ1の1 / 原口勉
 こあ4 / 原口勉
 なずな / 中野和徳
- 田代地区▶りつか / 瀬戸口哲郎
 あじさい / 猪鹿倉秀志
 つとむの6121 / 西元裕樹
 つとむの515 / 西元裕樹
 やすみく / 川路譲二
 みつこ / 川路譲二
 はな813 / 山下博幸
 ようこ / 西元裕樹
 みき / 福永一生

今年で3回目 大好評「アニメ体験教室」 プロのアニメーターから技を学ぶ

今年で3回目となるアニメ体験教室が開催され、小学生から高校生11名が参加しました。アニメーターの斎藤拓也さんやアニメ制作会社の方々に教わりながら、プロが使用するタブレットでアニメーションを作成。毎年参加している田代中2年の馬庭優陽さんは「プロの方がこんな田舎に来てくれて、専用の機材を使って体験ができるなんて嬉しい。」と笑顔で語りました。



鹿児島市でアニメ制作を行うHEIYAの佃さんは「日常の風景をよく観察すると、うまいアニメーターになれる」と話しました。

子どもたちとのふれあいに にっこり笑顔 ゆうゆうカフェ in 田代幼稚園

「ゆうゆうカフェ」の利用者が田代幼稚園・田代こども園を訪れ、園児とのふれあい活動を行いました。当日は、園が毎月実施している誕生会が行われ、利用者も一緒に参加。歌を歌ったり、レクリエーションをしたりして交流を深めました。今後、ゆうゆうカフェでは、園児たちのために積み木を作成する予定だそうです。



参加された喜蒲テル子さんは「子どもたちから元気をもらって、元気になった。来てよかった！」と話しました。

「フラメンコは音楽に心をのせて楽しむことが大切。」と語る小田口さん。スペインでは、幼児から高齢者まで誰もが楽しく踊っています。



鶴園サロン フラメンコ体験 精神的な若返りを目指して

九州大学大学院芸術工学府修士2年の小田口桜子さんによるフラメンコ体験が鶴園サロンで行われました。小田口さんは「フラメンコを通じて高齢者を元気にしたい」という思いから、大学院でもフラメンコが高齢者にもたらす効果について研究中。参加した瀬口チツヨさんは「フラメンコは初めてだったけれど、楽しかった。田代音頭やハンヤ節を踊っていた若い頃を思い出した。」と話しました。

錦江町茶業振興会の城下浩一会長は「共進会の評価を参考に生産などに生かし、品質を向上していきたい」と話しました。



出品された一番茶の香りや味を審査 荒茶品質向上を目指し共進会を開催

8月19日、JA鹿児島きもつき大根占支所でお茶の生産や製造力を向上させるために荒茶品質向上共進会が行われました。町内から31名が出品。5名の審査員により、外観、味、香り、水色の4項目で厳正な審査が行われました。大根占地区では大根占茶生産組合の「あさのか」が、田代地区では町喜久男さんの「あさのか」がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。